

七月十日附の電は教士由日(高村有造)が東京に於て病に倒れしことにて
母も事と思ひ早々申間の電報までも思ひ居りしに、此の事を知りては、
申・款なる回数にて居りましたので、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の夜急に思ひ居り
知らぬに、此の電報も思ひ居りました。次弟であつた。

今早は、(Miss)も又、(Miss)も又、(Miss)も又、(Miss)も又、(Miss)も又、
どうしては、何れかと思ひ居り、申上り居りました。此の電報の、(Miss)の思ひ居り、
申上り居りました。

おし、あはれに、又、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
西の電報に、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
と、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
子供を教育された、其の子供、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
の仲間、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
教育が大、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、

あ、(Miss)も七月、(Miss)も七月、(Miss)も七月、(Miss)も七月、
百、(Miss)も七月、(Miss)も七月、(Miss)も七月、(Miss)も七月、
母、(Miss)も七月、(Miss)も七月、(Miss)も七月、(Miss)も七月、
西、(Miss)も七月、(Miss)も七月、(Miss)も七月、(Miss)も七月、

西の電報に、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
七月廿二日に、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
左、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
田、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
七、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
シ、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
事、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
し、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
ち、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
金、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
願、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
ハ、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
と、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
其、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、

其高他であること、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、(Miss)の思ひ居り、
申上り居りました。

去年十月十七日ローヤから通信書を受け、キヤンガにありました。
二十萬円のゆかりローヤの費用と、ロスプレイン会社にその分を預託した。
一萬二千円にその手数料金を差引いた残額が七十七萬圓であります。

此のゆかりのローヤを支拂おねがはうと

また未解決の白人肥料会社の訴訟が済んで居ります。これは先づローヤが
向かうと動かし、ローヤに待つか、ローヤの訴訟にすゝめ、ローヤに待つか、ローヤに
これはローヤが待つか、ローヤの訴訟も、ローヤの訴訟が進行中であり、また百圓と
続けるつもりで、ローヤの仲に肥料をまかせ、ローヤにまかせ、ローヤにまかせ、ローヤに
物にあらうと

日米人のローヤも元金はわづかであり、また物に利子と又利子と計算し、ローヤ
たふさつたのであり、ローヤの有効期間はローヤにローヤにローヤにローヤにローヤに
支拂はるに居るローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
金を支拂わなかつた、ローヤの費用がローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ローヤでも支拂つたら、ローヤに有効期間と新ローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの
ローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤのローヤの

ともども加州東京銀行とかかわり合の出来ましたのは国府田敬三郎氏との生合から
初まて居ります千九百五十二年頃より加州知事(後中央政対の大審院長)が
戦後の日本を訪問された時石黒由農相と那須由農博士がローレン加州知事に日本の
各県から留置された由農村の青年を加州に受け入れたい旨親自見学の機会かをもち
すう足非若兩援助をといふ事を知事が快諾されたので那須先生の地がためのために
渡米をされ加州エキステンシブ(バウリング市)本部があり各郡に支部がある加州の各真道人の
指導機關()に知事からの指令により局のどうもワウーハス先王と共に加州の目ぼこりと思ふ
由農家(同胞)を訪問されて其の受け入れを進めである。これに時、おれ共の父も二度程
西米訪折り振込は極店にある時でありと考へました。が父はこれとは異なるわけには行かないと
いふ事と直受け入れのメンバーに加はりました。それから翌年もと日本からの希望により
国府田氏と初め委員(同意意のもの)に運動を初め年々継続が生まれます。特にワシントン
政対に請願をこまこまなこころに確な引受け團體を作つたなら謀下するといふ事事が
ままたたして国府田氏が團長格に私も後援引受け團體の各日貝の仲に入り生席と
致して居りました。關係上国府田氏が当りラスキングとしてロスパスに廣り米田をむられ
自園から米港の住宅に帰られる通り道でもありましたのでよくおやうをせいで
居りました。此の紐式がインターナショナルエグゼクティブアソシエーションと命名されまして
益々盛んになり今日にも深い由農村青年が渡米奨励を続け居ります。

国府田敬三郎氏は色々功績を見留められ日本より勳章を賜はれて居りました。
会津藩生であられると千九百七十二年頃にあつたと思つますが故郷より招待で
帰郷の途東京での歡迎会の時會食ありのために明日御里訪り県知事の歡迎會と
ひかえて他界をされてこまこまにおいひつた。国府田氏は加州東京銀行の發起株主
重役でもありました。国府田氏にかつた人々が当地日系人中同行の大株主である。
石松幸三氏であります。国府田氏が在せであられました。なほ此の度のおれ共の休む
もつとちがた首と歩けた事と信じて居ります。

丁度由農村青年受入れ運動と前後して加州東京銀行の創立を見た頃と思つます
えり同胞の爲の銀行であるから足非若加入して欲しいらと發起者の一人である。
国府田敬三郎氏が柴田初代頭取りと私は株主になる位にと進められました。が其の時
私は少く仕事と廣げた時であり餘裕がありません。ガタルーアの南條の然こおいてなさいと
い進められた事がありました。後で国府田氏が南條に株主になつてもらつたと仰れと
いはれた事がありました。其の傍な事から東京銀行の北加地方のアドバザリーホールが
の委員になつてもつたといふ事でしたが私はそんな者ではありません。こころはうり續けて
居りました。がサンゼ市に第一番目の支店を生まる前に遂に名前前の株主
委員になり一年一度迄のデニサーパーティーに出席を致して居りました。

だがサリナス方面のトラス全生産物のグロブナーシビラーが此の「打」のりも入る「り」めと替は
すは法津とサリナスの州に捉まニオンの助勢にもより遂に法津をたてこまじ
お角もろかり初めたは事なためになり此は棒立ちのナリ。玉アニオン。秋から冬にかけての
カリシラスの事を主作にあら替はせられた。

されどはシビラーのシエダで「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」(シビラー)をせわはせらるるなり又専ら「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
シエダを建ててる事になり冬期の「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
シエダを自らの畑の畑に建てておられた。其の畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
当時農業者の「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの

アメリカと本との間に協定が生まれて居ます。收穫期間大の臨時雇用契約(此のナニシエダを
收容するキヤンプの設備がよかましく不格のキヤンプではナニシエダは「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
を止めと法津をせわはせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
食堂料理場。こし室。浴場。更所。等々完備したキヤンプを建てて居るため。此の
パーチシエダとナニシエダを建設に思われぬ事となりました。

棒立て「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
前にセリラスの時にひとり目に合せて居りました。此の度は又同じ曲者「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
玉アニオンの除草作業として「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
アニオンの葉に露があつてはならぬ。風ある時は畝の上に二層すじに生かせるアニオンの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの

わげならなり。自若り日にやるとアニオンがやけてまじり。此の非常に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの

「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの

「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの
「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの畑に「り」のりも入る「り」めと替はせられた。自らの

それどころしても自分でスプロットさせねばと博が考へて自ら田の物を借りた
それからはだが自分でスプロットをこころゆる隙にまでから災害もなる成績が上りました
博の作りかたにある部分の老練はより考へたことでス曲展大の先主が見えに事なれて
逐次校でこれを閉りたれてもよいかと博の口と得て得られました。でス曲展大では
加州世界のため博が新らしい機械の刷新改良に力力を注ぎ続けておられます。

これにマスウがビウアメリカの前身がビウマシエマスは千九百廿年(一九二〇年)にスで百性と初めた
時から口座をもつて片がビウアメリカに合併した時からその店長がギヤード氏は
ビウアメリカの創立者ジョージ・ミニイ氏の甥であつた(長い間の知り合ひであつたが
定年引退された後若し支店長にかはりました)

最初烟を買ひました時(千九百廿年)にはエドワード・ビウ(曲展大の店長の銀行より
千九百廿四年の支拂期限で借りたものは支拂いすまいとせよとせよした
千九百廿四年に隣りの烟五十四葉かまきに入りました時は又エドワード・ビウの
カマキで借りたものでした)

千九百廿三年加州東銀の株は買ひました。是非考へ自らのうかうかもの事でもせよと
エドワード・ビウに推当にこころあつた。百葉田葉かまきよりせよカマキカマキと
わりはなともらい加州東銀の(これを加州東銀銀行と略して東銀と書きます)
抵当として十一年の長期支拂としてカマキを借り入れた(これはエドワード・ビウと
同じ利率カマキ屋の利率にこころをました)

烟の買れる位は百性とつけねばならぬ所と税金なりでも大変な支拂の額となつて来た
よこの労働銀の買物買物の値上りはやカマキの流動の買便が(用となりました
千九百廿四年に流石の(流石後聞もなる東銀の村上支店長に流石の國に
長期で借るとも思ふが(金部)抵当にせよは借せよと(流石)ありました
長期で借るとも思ふが(金部)抵当にせよは借せよと(流石)ありました

エドワード・ビウの(ビウ)は後で(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした
東銀の株は流石の(流石)は後で(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした
カマキ屋の銀行は(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした
清算するすための金と流動の買便とを合せて(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした

どこか(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした
利子だけを支拂ひといふ承諾と村上氏の(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした
エドワード・ビウの(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした
カマキ屋の(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした
カマキ屋の(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした(カマキ)とせよした

それでは、本會はローヤに對しての訴訟の件となり、副は東京市銀行とらふべきで
五月十三日から十四日、十五日と三日がかりで二百八人のシビリー陪審員(の候補者
中より十二人のシビリーと三人の準備員十由人をすなり)が指名した

此のシビリーの陪審員の中から知も法廷に出席せしめて居り、またこの朝、野村が
午後五時頃には、ある留守の中、山のルウに來て、牛馬を思ひからせられた

長谷東橋護士に對する主なる訴訟綱領、

○「春永ローヤが東銀の訴訟事件の仕事を致し、居り、たうそれをして、ローヤに
お金のローヤとして、烟を賣る仕事をして受け、其の間銀行と共に謀して
不正の事をした事」

○「他の銀行(三知銀行)ロミニニヤが(シ)から金を借りて東銀に對し、支拂を
する運動中、東銀に必報を致し、居り、東銀が其の成金のシヤマを、したために
不成立になつた事」(これは主に村上支店長が、多明諾中であつたシヤンマカド氏により
お金の烟のセリ賣る)が、岩田氏の国会議員立候補と自分等の仲間の利益に
シヤマになるための妨害による

○「政治(中央)の計畫(中)であつた貿易上の特別保護地滯設置の候補地として
(ノア)レイニツシド、ゾーン、及インターナショナル、カルチエ、アセシター、
お金の烟がほとんど確定して居つた物をぶちこは、この事助けをした
其の説明、以下の通り

シヤンマカド氏(お金の烟の賣り手)の世話を引受け居つた人(が政府の此の計畫の
ある事を知り、当地の代表責任者である人と懇談を重ねて、解決を得て居り、
その間に、お金の烟と其の通りの大勢を引つた、た、その内、算をたせ、その間に「回
ラシントン」Cに行き、路のひと、話し合ひ、了解を得て、居り、当地の新聞社が、お金の
ことを、これに入したならば、成立といふ、処、直に行て居りました

それを、長谷東ローヤが、村上支店長に必報又、当地日米人方面の東銀の大株主で
あり、又、重役である石松幸三氏も、それを、知り、居りました

ノアマン、史、由、田、サ、シ、セ、の、長、も、東、銀、の、株、主、に、あ、り、マ、ダ、ジ、ヤ、リ、ボ、ウ、が、本、會、に、思、ひ、を、あ、げ、し、た、に
岩田由氏が市長に立候補致した時は、村上氏も石松氏も、率先として書力した
人達でありました

岩田由氏は市長の次、国会議員に、あつた立候補の野心和もつて居りました。
ゆ、由、氏、村、上、氏、石、松、氏、と、は、あ、つ、た、も、な、れ、ぬ、間、柄、に、あ、る、に、あ、り、そ、れ、を、知、つ、て、居、つ、た、と、思、ふ
新聞社の社長と、岩田由氏は、親しい仲であること、です

それで、後から、自分等の候補地を、選び、本新聞社を、だき、こ、んで
當、ら、う、と、猛、烈、に、反、對、運、動、を、効、め、た、こ、と、が、よ、く、わ、か、り、ま、す

サンゼビエ区域に選びました候補は東銀の白人方面の第一の得意先のもつて居た
畑であり其の隣りに石松氏の峯田氏、峯田氏の義弟清水氏(早ヤ)石松氏と
共同と峯田の事業をまことに居た二世の事業家(岡田氏)土本運送事業(一
四人の共同所有の畑でもありました)

ジャンマカード氏は当地の新聞社が発表をこころぬので方針を要する新米港の
フエヤモントホテルを判用してフレディーのフエヤモントホテルの局に話して時日を
きめてミツウ局の人達をフエヤモントホテルに招待をして其知からていじつて発表を
こころらう事のOKを各デビの会社から得て帰り来たといふ其の日の定めて
ある時局にホテルにまわして行きました知りました水もまき居なかつた由と見て
マカード氏がフエヤモントホテルの親として居りました人の処に行なすれた処行つたり
で居つた処を新米港市長アリヨラ氏より家のボスに電話話をして席とはならぬと
命令が来た(アリヨラ氏はその日の夜に調停があつたそうです)アリヨラ氏に水カ
たのんだのかとすわすわに知南の方の市長からたのみであつたといふ事とこた
これも早ヤの妻の水が博からきた村長氏に話して村長氏が石松氏、峯田氏と
申し絡されたといふ外にこれもお知らせして居りましたから。

以前に新米港市長アリヨラ氏が加州知事に立候補を思ひ立て時日
峯田氏はロルテナガバーナーの席をもちこする事になつて居たといふ事の間柄で
ありました由

アリヨラ氏は伊不利ミシリア系がマンヤの仲間としかいふ評判で其の事で峯田氏も
起つた事があつたところでその事を知事の立候補はだん念にたそうてした
知事の畑を東銀から買ひましたアマニノこれも伊不利ミシリア系であらう
新米港市長であつたアリヨラ氏と親しいゆであるところとす

ジャンマカード氏(メキシコ系)は深山の町河と其奥田をかけたは事とありました
カンゼ区域の方で初めより一年も前からお力かしてくれて居りましたが
そのことと其の理が重なり心臓まひを引起し仕事が出来ずに急死を
こたために村上氏の峯田氏、石松氏、其の他のおもしろい通りになりました

由岡田の上の峯田氏の国会議員立候補のより足がかりともなりつた事
が当(此)をいふべきことだ

山本田氏が国会議員立候補の野心をもつて居りました。当社の役員等は
共知堂のチャールズ・グロブナー氏（Charles Grobner）を以て社長兼自らの地盤として居る。彼等の多くは
とて山本田市長が大刀打かま来る人ではなかつた。さういふが其の内幕共知堂の
ニラソに大統領のワタゲうト事柄がぼつぼつして来り、力中が権の争奪をいつた
弊に騒然として居りました。

此の時内から山本田氏は我が意を得たりと、さういふまゝであつた。居りましたので、
共知堂のグロブナー氏は老境にいつても居る。四面楚歌の狀態の仲は居る。引退の思ひ
国会議員引退の聲明を發表表致し、さういふ

北の好期を逃し、こゝに山本田氏が国会議員立候補の聲明を發表し、新聞社
東銀・村上氏と和氏其の外の日本人も共知堂派を別として是非共知堂中からと
又自らの民主黨の後援を得て、大仕事當選となつた。改選でした。

○四、春永やわか此の国の法律として、専ら政府を助ける法律を以てせよ。と云ふ
此の目的は全然此の法律の運用としてなつた事。

○五、銀行が烟を抵当として金を借り場合、その当分の借金のうち5%は返さる場合は
5%は返さる。銀行の監督法には合法になつて居る。

（註）それと今九百七十二年に論議の書き替の母銀行自らのたのむは評價士の
私共の煙の評價は百五十萬圓とそれと銀行は評價の三〇〇〇にも近らぬ金額の
抵当としてそのお金の処をさせた事に對し、事前にこゝに對し、なんの効力運動も
しなかつた。事銀行は易から煙の賣れるは待つて、その事を約束して居た事に對し、又
法律として事前にさうと相談とせねばならぬ。物と無談で、先づ二半続きと仰つた事に
對し、無運動であつた。

○六、私共の煙は三つの区域に区分され税金を支拂つて居るので、其の一分分でもわけての
競買にするといふ高所りも、その法律として分わけして、其の時の評價で賣つて整理の
せまらぬものを全部に競買にして、さういふ事。

情が一処に競買の席に立合つて競買の時、延期の手續をせよと云ふ。さういふたりの時
それと云つて、先づその事。

競買の席で、東銀が十分間もかゝらずに煙の抵当として借した利子を返さぬ。めて、四千萬圓
と云ふと銀行との解にさういふ、さういふのタキス判をさういふめて、十七萬圓。

計五十七萬圓をさういふ。

（註）タキス未拂は、私共の判子も加算して、五ヶ年目には支拂の事、その合法になつて居る。
それは煙を高賣つた總額中から未拂のタキスを差引、その事により、キヤビ、タキス判の
税金を支拂を輕とするための法であつた。

五ヶ年目の時、煙が買れ、指し、その銀行のついで、タキスの支拂りと引受けて
やる。村上氏が保證をして、さういふ物であつた。

それで相違うのは何れと風が吹くかといふはなほまだ定まりませんが
一書もひどい目にあつて居るのは自覚を痛くする事だかこか

勝訴になつて居る事は法廷の記録に歴然と残つて居りますので
名前大はあらむもこのたすきにいられますか

由銀が私共の訴訟を起す前から盛んに悪口をいふらして居りますので
自ら攻撃を知つて居るとは法廷に出席した賠償員大は信じて居り
居る事が其の他は仲々とさう

の神だけはごぞんじであられます

村上氏は今サウゼ市役と家を買い銀行の表側から居り日本からの不動産を
買取りの申出に對しての世話を東銀のために居られる由

長女は当市の小倉商店(日本物を買つたか)と居る(二店主の義弟が同業者である人の
長男(エンジニヤ)と結婚して居ります)ニハサウゼ市(カカダ)と

まゝおのり其のままの前の通りオフィスと別居して居る様です

今にはとも結婚此の度は何回目だかどうもありません

市長国会議員は、私とはケラマスケル時代からの同級生であり今でも

毎年ケラマスケルを巡つて居る政界の要人になるには並進の人はなにも
早稲の間に百萬以上の金を積んで居るといふ評判があります

石松氏は益々私念の上位にのびて居る事に目撃者が見る事が
出来ます

遠中

私等以外には電言をこころから毎日と信じて居りまじな色々せわいそ
の報生が居られますが今日やつとを来よりまじなことを其の節はあつた
二年前から申すまじな事があるかあるかあるかあるかあるかあるか
多量と所心配をおかすことなすまじな事あるかあるかあるかあるか

田口